

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	子ども発達支援センターつみき園（放課後等ディサービス）		公表日	令和 7年 3月 14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・子どもの状況に合わせながら、適切に職員配置を行っています。	・利用定員に対する事業所としての職員数は適切ですが、タブレットの導入（子どもの指導場面の撮影）で時と場所によっては手が足りないことがあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・ホワイトボードやカードを利用しながら、見通しがつきやすいように配慮しています。	・刺激や情報量が多くなりすぎないように、環境を整備していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・個別や小集団の指導後に、使用した物の消毒を行ったり、指導終了後に毎日清掃、消毒を行っています。 ・冬は窓を開け換気したり、加湿器を付けるなどウイルス対策を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・子どもの状況や指導内容に応じて、部屋を仕切ったり、別室を使用しながら、環境を整えるスペースが確保されています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・日々の打ち合わせや職員会議等を利用しながら、確認するようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・改善すべきことを話し合い、指導の中で活かせるよう対策を立てています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・定期的な職員会議やグループ会議、また必要に応じて話しの場を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7		・行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・研修内容を報告したり、資料を回覧またはコピーし、今後の指導に役立てている。	・時間を調整しながら、今後も研修を重ねています。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	2		・公表が遅れましたが、ホームページに掲載します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	8		・サービス支援会議を行い、子どもの発達状況や特性を確認しながら、計画を立てています。	
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・サービス支援会議の中で、支援に関わる職員と共通理解を深めながら、検討しています。	
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・共有しながら、支援内容を検討しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	・決まったツールはありませんが、日々の行動観察を行い、指導の打ち合わせや振り返りで確認をしています。	
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・サービス支援会議の中で話し合いを重ね、確認しながら、具体的な支援目標や支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・グループ会議の中で検討しながら立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・年間を通して活動プログラムを作成し、内容が偏らないように配慮しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・個々に合わせた支援を提供しています。	・限られた人員や支援時間の中で、保護者の要望に全て合わせた日程調整ができないことがあります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・前回の指導の反省点や対策などを確認し、その日の職員の役割分担を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・指導後に子ども一人一人を振り返り、次の指導に向けて対策を立てています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・毎回指導終了後に記録を行い、支援の在り方や今後の対応につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・モニタリングは年2回実施しています。モニタリングの内容を参考にしながら、計画の見直しに役立っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		・できる限り選択肢を与え、自ら決定できるように配慮しています。	・毎回の指導の中で、この力を育てていくことは、職員の課題でもあります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・関係機関等の会議には、その子どもの状況をよく理解している職員が参加できるように調整しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・関係機関等の会議の中で、情報を共有し、連携した支援ができるように配慮しています。	・利用児全員の関係機関すべてと、細かな連携を図ることは今後の課題と思われます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・送迎は行ってないため、日々の予定等は指導に影響ありません。	・就学の際は引継ぎを行っていますが、学年が上がった時などに不十分な面があります。。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	・就学すると保育園幼稚園との連携は少なくなります。児童発達支援事業所等は、必要に応じて情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		8	・該当するケースがいる場合は行っていますが、高校まで当園を利用するケースはありません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		8		・地域に児童発達支援センターはありませんが、こども家庭センターや教育支援センターからの助言を受け、支援に活かしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	・交流する機会は設けていません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	・自立支援協議会そのものはありません。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・指導中または指導後に、保護者に子どもの様子を伝え、課題などを共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7	・ペアレントトレーニングなどの特別なプログラムは行っていません。	・家族の対応力向上に向けて、情報提供等できることを検討していきます。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に説明させていただいています。利用者負担などの改定があった場合は、その都度連絡しています。	・契約後は、運営規定や感染や防犯のマニュアルの説明の機会が少ないため、お便りで周知するなどの対策を検討していきたいと考えています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・モニタリングを実施し、家族の要望や意向を確認する場を設けています。	・さらに丁寧な聞き取りを実施し、計画書の作成に反映できるように努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・相談があった際には迅速に対応するように努めています。	・保護者の困り感を十分に拾えるように努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	7	・父母の会や保護者会はありません。茶話会などは企画していますが、コロナ感染後は行っていません。	・茶話会などの保護者の交流の場は、状況を確認しながら検討していきます。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・その都度対応するようにしていますが、その場で時間が作れなかった場合には、後日時間を調整して対応しています。	・今後も迅速な対応に努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・お便りを毎月発行していますが、SNS等は利用していません。HPに簡単な概要は掲載しています。	・お便りやHPの内容を工夫しながら、わかりやすく発信できるように努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・関係機関との連携の中で、書類等はメールやFAXを使わず、できるだけ手渡すようにしています。	・今後も個人情報の取り扱いには十分注意して、取り組めます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・それぞれの保護者や子どもに合わせた配慮を行っています。	・保護者や子どもに寄り添った支援ができるように取り組んでいきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		・実施していません。	・指導時間や個人情報の観点から、検討は難しいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・年1回職員間で研修を行ったり、各種研修に参加し、職員間で周知できるようにしています。	・保護者には契約時に説明したり、お便りを利用することはありますが、周知がまだまだ不十分な点があります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	・母体となる社会福祉協議会全体では、年数回実施していますが、当園単独には行っていません。	・避難訓練などは、実施される日に利用されている方のみの参加になってしまい、利用者全員が参加できる機会はありません。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・聞き取りの他に、契約時に児童票を配布し、保護者に記載をお願いしています。	・丁寧な聞き取りを心がけながら、子どもの状況の把握に努めます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・基本的に食事の提供等はありませんが、聞き取りや児童票を確認しながら対応しています。	・アレルギー等で検査を行ったり、診断書がある場合は、保護者に提出をお願いし、慎重に対応できるように努めます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	・契約時の説明が主となっています。	・契約時以外に、お便りなどを利用し周知できるように努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			・研修等には参加していますが、機会が少ないため、いろいろな情報を取り入れ、職員研修の場を増やしていくことに努めます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		・契約時に説明し、計画書にも記載し、保護者の了承を得て、指導を行っています。		